

仙台市×東北大学スーパーシティ構想に係る参画事業者公募要項

1. 事業者公募の目的

仙台市では、国が進めるスーパーシティ構想について、国が行う区域指定のための公募（以下「区域指定公募」という。）への応募に向けた検討を進めています。

その区域指定にあたっては、国家戦略特別区域基本方針の指定基準において「データ連携基盤整備事業及び先端的サービスを実施する主要な事業者の候補が、地方公共団体の公募により選定されていること」とされていることから、本市が区域指定公募に応募するにあたり、参画する事業者を、以下のとおり広く募集します。

2. 参画事業者の公募

仙台市では、仙台市×東北大学スーパーシティ構想の実現に向けて、以下の事業者の候補を公募します。

スーパーシティは、大胆な規制緩和を行うとともに、複数分野のデータ連携と先端的なサービスの提供により未来の生活を先行して実現する“まるごと未来都市”を目指すものです。

(1) 先端的サービスを実施する主要な事業者の候補

自らサービス提供主体として事業を推進する意欲がある者

(2) 国家戦略特別区域法第2条第2項第3号に規定するデータ連携基盤整備事業を実施する主要な事業者の候補

(1)へ応募される事業者におかれては、「仙台×東北大学スーパーシティ構想（案）」（以下、構想という。）に示すテーマ例等を参考に、実現したいアイデアを提案してください。

(2)へ応募される事業者におかれては、データ連携基盤事業について提案してください。

3. 応募資格

本事業者公募へは、以下に掲げる条件をすべて満たす法人・団体等であること（複数の法人・団体等で構成された共同提案体も可。その場合、構成するすべての法人・団体等が以下に掲げる条件を満たす必要があります。）。

- (1) 仙台市入札契約暴力団等排除要綱（平成20年10月31日市長決裁）別表に掲げる要件に該当する者でないこと。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定のいずれにも該当しない者であること。
- (3) 法人の市民税及び事業所税に係る市長に対する申告（当該申告の義務を有する者に限る。）を行い、かつ、本市の市税を滞納していないこと。
- (4) 受付期限内に、仙台市の「有資格者に対する指名停止に関する要綱」第2条第1項の規定による指名停止を受けていないこと。

4. 応募の手続等

(1) 提出期限

令和3(2021)年2月12日(金)17時15分(必着)

(2) 提出書類

【様式】仙台市×東北大学スーパーシティ構想に関する事業提案書

ただし、全ての欄の記載を求めるものではなく、可能な範囲での記入をお願いします。

(3) 提出方法

電子メールまたは郵送

- ・ 電子メールの場合は、提出後に下記(4)提出先への受信確認のご連絡をしてください。
- ・ 共同提案体の場合は、代表事業者が構成事業者分を取りまとめて一括して提出してください。

(4) 問い合わせ先・提出先

仙台市まちづくり政策局プロジェクト推進課 (担当)星、松原

住所：〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

電話：022-214-1254

電子メール：mac001630@city.sendai.jp

(5) 留意事項

- ・ 提出後の書類は、返却いたしません。
- ・ 提出後の書類は、修正、差替及び追加をすることは出来ません。
- ・ 書類提出に係る費用は、提出者の負担とします。

5. 選定の基準

4.より提出された応募書類に基づき、以下を満たす者を連携事業者の候補者として選定します。

- (1) 構想に賛同し、事業を推進する意欲を持っていること
- (2) 推進しようとする取組が、構想と合致していること
- (3) 提案した事業を遂行できる体制、能力を有していること
- (4) 2(2)の区分により公募へ応募する者については、事業の遂行に必要な能力を有していること
- (5) 3に定める事由に該当しないこと

6. 事業者選定後について

- ・ 選定された事業者は、スーパーシティ構想の実現に向け、連携して準備を進めていく「主要な事業者の候補」として、仙台市、東北大学及び他の事業者等で構成する「(仮称)仙台市×東北大学スーパーシティ協議会」へ参画するものとします。

- ・ 事業提案については、そのまま国への応募書類へ記載されるものではなく、仙台市及び東北大学との調整を経て、国への応募書類を作成していきます。
- ・ 選定された事業者は、今後、区域指定応募に向け、国の応募書類における事業案の整理や資料作成等の準備作業を仙台市及び東北大学と連携しながら実施していただきます。なお、それに対する対価の支払いは発生しないものとします。

7. 本事業者公募のスケジュール

日程・期限	内容
令和3年1月20日（水）	本事業者公募開始
令和3年2月12日（金）17時15分まで（必着）	応募受付期限
令和3年2月中下旬	事業者決定

（参考）国が示しているスケジュール

日程・期限	内容
令和3年3月26日（金）18時	区域指定応募書類の提出期限
令和3年4月以降	国が区域指定（5箇所程度）

参考情報

(1) データ連携基盤に関する情報

データ連携基盤については、下記の報告書等を参考にしてください。

- ・「スーパーシティ／スマートシティの相互運用性の確保等に関する検討会最終報告書」
- ・「スマートシティリファレンスアーキテクチャ ホワイトペーパー」
- ・「スマートシティセキュリティガイドライン」

(2) ウェブサイト

- ・スーパーシティ構想ウェブサイト

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/supercity/openlabo/supercitycontents.html>

- ・「国家戦略特別区域法の一部を改正する法律」の成立について

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/kettei/r202005.html>

- ・「国家戦略特別区域法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令」及び「国家戦略特別区域法施行令の一部を改正する政令」の閣議決定について

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/kettei/r202008.html>

- ・「国家戦略特別区域基本方針」の一部変更の閣議決定について

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/kettei/r21030.html>

- ・国家戦略特区ウェブサイト

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/>

- ・国家戦略特区の活用事例（既存の国家戦略特区特例措置）

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/pdf/katsuyoujirei.pdf>

仙台市×東北大学スーパーシティ構想（案）

1. 目的

仙台市は東北地方の中心都市として、東北地方全体の住民によってその都市基盤が支えられています。東北地方が持続的に発展していくことが、仙台市の持続的な発展にとっても必要不可欠です。

今後も、仙台市・東北地方がともに発展していくためには、東北地方の中心都市である仙台市において、自らの地域課題に対し、その解決のノウハウを編み出すとともに、編み出されたノウハウを東北地方全体へ展開させることにより、東北地方の持続的な発展を牽引していく必要があります。

そこで、若者世代の人口割合が高く、将来を担う人材が豊富な仙台市では、

- ① 将来を担う若者世代の力を最大限に引き出すまちづくり
- ② 東北の未来を牽引するまちづくり

を掲げ、スーパーシティの実現に取り組んでまいります。

2. 対象地域

青葉山キャンパスを中心とした東北大学の各キャンパス



(1) キャンパスの概要

- ・ 東北大学は、国内有数の総合研究大学として「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念のもと、これまで多くの指導的人材を輩出し、未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導してきました。
- ・ 近年は、青葉山に東北大学 IIS 研究センター設立（2008）、「指定国立大学法人」の最初の三校に指定（2017）、「東北大学ビジョン 2030」を発表（2018）、オープンイノベーション戦略機構を設立（2018）するなど、大学の 3 つの伝統的理念を基盤としながら、

大学経営の革新を図り「社会とともにある大学として」、【教育】・【研究】・【社会との共創】の好循環を目指しています。

- ・ 特に、青葉山キャンパスにおいては、仙台市と東北大学で「青葉山新キャンパス協定」を締結(2008)しており、市・大学が研究開発型企業の立地支援をしています。さらに、2023年世界最高レベルの次世代放射光施設の稼働を契機に、産官学が集う社会課題解決型キャンパス共創の場となる国内最大規模のサイエンスパークを整備予定であり、大震災から10年を迎え次の10年のビジョン形成向け、東北大学の技術が集結した、若い力と豊富な人材が集う成長拠点として注目されています。
- ・ そこで、最先端の技術が集結した成長拠点としての強みを活かし、東北大学青葉山キャンパスを中心として、最先端サービスの導入・実装を進めてまいります。

(2) 地域展開

フェーズ I

青葉山キャンパスに先端技術サービスを導入するとともに、ソーシャルイノベーションモデル、ビジネスモデルを構築。市内各キャンパス(星陵キャンパス、片平キャンパス、川内キャンパス)への展開を図る。

フェーズ II

フェーズ I で実現したサービスについて、市内都心部、中山間地域への展開を図る。

フェーズ III

さらに、東北地方における課題解決のための展開を図る。

3. 仙台市×東北大学スーパーシティ構想のコンセプト

- 最先端技術を活かしたサービスの実装により若者の力を最大限に引き出す成長拠点
- 東北大学の技術と英知を核とした産官学金の連携による魅力的で斬新なサービスの創出拠点
- 生み出されたサービス・ノウハウを仙台市内・東北地方にも拡大するソーシャルイノベーションモデルの展開拠点

4. 想定している住民

- ・ 大学における研究や講義等に参加する教職員、学生、企業関係者、市民
- ・ 大学内の寮に居住する留学生

5. 想定しているテーマ例

- (1) 杜の都仙台が目指すグリーンなまち【エネルギー分野・環境分野など】
 - 例)・超低消費電力技術 ・再生可能エネルギー
 - ・まち全体でのエネルギー構成の最適化 ・カーボンフリー など
- (2) 誰もが健康でいられる人にやさしいまち【健康分野など】
 - 例)・日常的なセンシング技術 ・メンタルヘルス ・ヘルスケア など
- (3) 最新鋭テクノロジーが日常生活に溶け込むまち【移動分野・物流分野など】
 - 例)・ドローン配送や無人自動コンビニ ・自動運転車 ・生活用ロボットなど
- (4) 災害に強いレジリエントなまち【防災分野など】
 - 例)・AI を活用した災害予測 ・災害用ロボット ・VR を活用した防災訓練
 - ・デジタルツイン など
- (5) 人々がつながるハブとなるまち【教育分野・行政分野など】
 - 例)・マイクロレデンシャル ・オンライン教育
 - ・事業者、研究者、行政のボーダーレス化 ・バーチャルキャンパス
 - ・ワンクリックでの移転 など

※ 上記のテーマ例は参考であり、新たな分野のアイデアも歓迎します。

6. 全体スケジュール

